

森林づくり推進支援金事業総括書の公表について

- 平成 30 年度以降の森林づくり推進支援金は、交付対象事業の公表、事業実施後の検証、評価及びその内容の公表を市町村が自ら行うこととしています。
- 市町村は事業実施後、「**森林づくり推進支援金事業総括書**」により事業の検証及び評価を行い、地域振興局を通じて「**みんなで支える森林づくり地域会議**」の意見を聴いた後にこれを公表します。
- 前回会議（7/30）において、今後公表することとしていた**令和 2 年度の「森林づくり推進支援金事業総括書」については、11 月下旬ごろ公表する予定としております。**なお、令和元年度の総括書については下記ホームページにおいて公表されております。

URL:<https://www.pref.nagano.lg.jp/rinsei/sangyo/ringyo/shisaku/kenminzei/sienkin.html>
（長野県公式ホームページ→仕事・産業・観光→森林・林業→長野県森林づくり県民税→森林づくり推進支援金の検証、評価）



※「みんなで支える森林づくり地域会議」での意見聴取が済んでいない市町村については、意見聴取後に HP に掲載します。

■森林づくり推進支援金交付要綱（抜粋）

（検証、評価及び公表）

第 12 市町村長は、森林づくり推進支援金事業総括書（以下「総括書」という。）により当該交付の対象となった事業の検証及び評価を行い、その内容を地域振興局長に報告するとともに、公表しなければならない。

■森林づくり推進支援金事業実施要領（抜粋）

（事業内容の検証、評価及び公表等）

第 11 要綱第 12 に規定する森林づくり推進支援金事業総括書（以下「総括書」という。）は、別記様式第 15 号によるものとする。

2 総括書の提出は、要綱第 9 に規定する森林づくり推進支援金事業実績報告書の提出と同時にを行うものとする。

3 地域振興局長は、総括書を別に定める「みんなで支える森林づくり地域会議」に報告し、意見を聴いた上で、その結果を市町村に報告するものとする。

4 市町村長は、前項の報告を踏まえ、事業の検証及び評価の結果を公表するものとする。（その他）

第 12 地域振興局長は、森林づくり推進支援金の交付決定及び額の確定を行ったときは、別記様式第 16 号により速やかに森林づくり推進支援金事業実施報告書を知事に提出するものとする。

2 知事は、前項の規定により報告のあった内容について、別に定める「みんなで支える森林づくり県民会議」へ報告するものとする。

森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和2年度事業分)

事業名	①みんなで支える里山整備事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
事業区分	1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備	実施期間	H20～	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2, 0)					
8つの重点目標	労働生産性				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 事業の概要

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の影響等で局地的な豪雨等による土砂災害や流木被害等が増加しており、こうした災害を防ぐための森林整備は喫緊の課題。 ・また、過疎・高齢化が進む山村地域で里山管理の空洞化を抑制するためには、地域住民等による自立的・持続的な森林の利活用が重要。
目指す姿・成果目標	<p>①防災・減災のために必要不可欠な里山の間伐等 概ね4,300ha程度/5年間</p> <p>②地域住民等の主体的な参画による里山の整備・利活用 概ね1,500ha程度/5年間</p> <p>③安全が確保される主要なライフライン等 概ね150箇所程度/5年間</p> <p>【取組により期待される効果】</p> <p>間伐材の搬出量の増加、森林整備の実施を通じた防災意識の向上、地域住民の里山利活用の増加</p>

2 事業の実施状況

令和2年度の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・未整備の里山のうち、科学的知見に基づき「防災・減災」の観点から優先的に整備が必要な森林の間伐を推進 ・長野県ふるさと森林づくり条例に基づく「里山整備利用地域」において、住民協働による里山の整備・利活用を促進 							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>事業主体</th> <th>事業実績</th> <th>令和2年度決算額 [うち森林税活用額]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①防災・減災のための間伐等 ②県民協働による里山の整備・利活用 ③ライフライン等保全対策</td> <td>市町村、森林組合、NPO法人、森林所有者の団体等</td> <td>①防災・減災のための間伐等 808ha (R2当初:808ha) ②県民協働による里山の整備等 81ha (R2当初:78ha、R元繰越:3ha) ③ライフライン等保全対策 67箇所 (R2当初:58箇所、R元繰越:9箇所)</td> <td>519,089,900円 [519,089,900円]</td> </tr> </tbody> </table>	事業内容	事業主体	事業実績	令和2年度決算額 [うち森林税活用額]	①防災・減災のための間伐等 ②県民協働による里山の整備・利活用 ③ライフライン等保全対策	市町村、森林組合、NPO法人、森林所有者の団体等	①防災・減災のための間伐等 808ha (R2当初:808ha) ②県民協働による里山の整備等 81ha (R2当初:78ha、R元繰越:3ha) ③ライフライン等保全対策 67箇所 (R2当初:58箇所、R元繰越:9箇所)
事業内容	事業主体	事業実績	令和2年度決算額 [うち森林税活用額]					
①防災・減災のための間伐等 ②県民協働による里山の整備・利活用 ③ライフライン等保全対策	市町村、森林組合、NPO法人、森林所有者の団体等	①防災・減災のための間伐等 808ha (R2当初:808ha) ②県民協働による里山の整備等 81ha (R2当初:78ha、R元繰越:3ha) ③ライフライン等保全対策 67箇所 (R2当初:58箇所、R元繰越:9箇所)	519,089,900円 [519,089,900円]					

事業コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計(累計)	備考
		予算額	前年度繰越	321,508	360,439	26,468	2,275	
	国費	108,446	112,838	0	0		221,284	
	森林税	213,062	247,601	26,468	2,275		489,406	
	当初	412,454	201,550	495,000	422,000		1,531,004	
	国費	116,806	0	0	0		116,806	
	森林税	295,648	201,550	495,000	422,000		1,414,198	R2は補正予算40,000千円含む
	合計	733,962	561,989	521,468	424,275		2,241,694	
	国費	225,252	112,838	0	0		338,090	
	森林税	508,710	449,151	521,468	424,275		1,903,604	
決算額	前年度繰越	321,508	242,729	26,466			590,703	うち森林税 421,215千円
	国費	108,446	61,045	0			169,491	
	森林税	213,062	181,684	26,466			421,212	
	当初	52,015	167,139	492,624			711,778	
	国費	3,968	0	0			3,968	
	森林税	48,047	167,139	492,624			707,810	
	合計	373,523	409,868	519,090			1,302,481	
	国費	112,414	61,045	0			173,459	
	森林税	261,109	348,823	519,090			1,129,022	

指標及びその達成状況								
成果目標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計(累計)	備考
①防災・減災のために必要な里山の間伐 ②地域住民等の主体的な参画による里山の整備・利活用 ③ライフライン沿いの危険木の伐採	目標値	① 1,290ha	1,800ha	950ha	795ha		4,300ha	
		② 150ha	232ha	303ha	375ha		1,500ha	
		③ —	18箇所	27箇所	19箇所		55箇所	R3にR2からの繰越1箇所含む
実績値	①	115ha	803ha	808ha			1,726ha	
	②	18ha	59ha	81ha			158ha	R2にR元からの繰越3ha含む
	③	—	63箇所	67箇所			130箇所	R2にR元からの繰越9箇所含む

目標に対する成果の状況	<p>(達成状況) ・集落周辺に位置する森林の多面的機能の回復・維持・増進を図るために間伐808haを実施した。</p> <p>・里山整備利用地域において、森林と地域との関係性を再生し、自立的・持続的な森林管理の構築を図るための整備を実施した。</p> <p>・市町村からの要望に基づき、特に重要とされるライフラインの保全を図るため、危険木の伐採を実施した。</p> <p>(副次的な効果) ・地域における課題解決に資する森林整備に支援することができた。</p>
-------------	---

県民会議・地域会議等からの意見	
-----------------	--

3 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域の課題等を的確に捉え優先的に整備が必要な箇所と、地域の事業実施体制との調整を図る等、継続的に支援していく必要がある。</td> <td>令和元年度から新たに取組みを始めたライフライン等保全対策への対応を含め、地域のニーズと事業実施体制の的確な把握及び調整を図り、現地機関と協力して引き続き地域への支援を継続していく。</td> </tr> </tbody> </table>	課題	今後の方向性	地域の課題等を的確に捉え優先的に整備が必要な箇所と、地域の事業実施体制との調整を図る等、継続的に支援していく必要がある。
課題	今後の方向性			
地域の課題等を的確に捉え優先的に整備が必要な箇所と、地域の事業実施体制との調整を図る等、継続的に支援していく必要がある。	令和元年度から新たに取組みを始めたライフライン等保全対策への対応を含め、地域のニーズと事業実施体制の的確な把握及び調整を図り、現地機関と協力して引き続き地域への支援を継続していく。			

森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和2年度事業分)

事業名	①みんなで支える里山整備事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
事業区分	1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備				
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	労働生産性				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 事業の概要

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の影響等で局地的な豪雨等による土砂災害や流木被害等が増加しており、こうした災害を防ぐための森林整備は喫緊の課題。 ・また、過疎・高齢化が進む山村地域で里山管理の空洞化を抑制するためには、地域住民等による自立的・持続的な森林の利活用が重要。
目指す姿・成果目標	①防災・減災のために必要不可欠な里山の間伐等 概ね4,300ha程度/5年間 ②地域住民等の主体的な参画による里山の整備・利活用 概ね1,500ha程度/5年間 ③安全が確保される主要なライフライン等 概ね150箇所程度/5年間 【取組により期待される効果】 間伐材の搬出量の増加、森林整備の実施を通じた防災意識の向上、地域住民の里山利活用の増加

2 事業の実施状況

令和2年度の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・未整備の里山のうち、科学的知見に基づき「防災・減災」の観点から優先的に整備が必要な森林の間伐を推進 ・長野県ふるさとの森林づくり条例に基づく「里山整備利用地域」において、住民協働による里山の整備・利活用を促進 			
	事業内容	事業主体	事業実績	令和2年度決算額 [うち森林税活用額]
	①防災・減災のための間伐等 ②県民協働による里山の整備・利活用 ③ライフライン等保全対策	市町村、森林組合、NPO法人、森林所有者の団体等	①防災・減災のための間伐等 808ha (R2当初:808ha) ②県民協働による里山の整備等 81ha (R2当初:78ha、R元繰越:3ha) ③ライフライン等保全対策 67箇所 (R2当初:58箇所、R元繰越:9箇所)	519,089,900円 [519,089,900円]

事業コード	区分(単位:千円)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計(累計)	備考
		予算額	前年度繰越	321,508	360,439	26,468	2,275	
	国費	116,806	0	0	0		116,806	
	森林税	295,648	201,550	495,000	422,000		1,414,198	R2は補正予算40,000千円含む
	合計	733,962	561,989	521,468	424,275		2,241,694	
決算額	国費	3,968	0	0			3,968	
	森林税	48,047	167,139	492,624			707,810	
	小計	52,015	167,139	492,624			711,778	
	前年度繰越分	321,508	242,729	26,466			590,703	うち森林税 421,215千円
	合計	373,523	409,868	519,090			1,302,481	

指標及びその達成状況

成果目標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計(累計)	備考
①防災・減災のために必要な里山の間伐 ②地域住民等の主体的な参画による里山の整備・利活用 ③ライフライン沿い等の危険木の伐採	目標値	① 1,290ha	1,800ha	950ha	795ha	4,300ha	
		② 150ha	232ha	303ha	375ha	1,500ha	
		③ —	18箇所	27箇所	19箇所	55箇所	R3にR2からの繰越1箇所含む
	実績値	① 115ha	803ha	808ha		1,726ha	
		② 18ha	59ha	81ha		158ha	R2にR元からの繰越3ha含む
		③ —	63箇所	67箇所		130箇所	R2にR元からの繰越9箇所含む

目標に対する成果の状況	(達成状況) ・集落周辺に位置する森林の多面的機能の回復・維持・増進を図るために間伐808haを実施した。 ・里山整備利用地域において、森林と地域との関係性を再生し、自立的・持続的な森林管理の構築を図るための整備を実施した。 ・市町村からの要望に基づき、特に重要とされるライフラインの保全を図るため、危険木の伐採を実施した。 (副次的な効果) ・地域における課題解決に資する森林整備に支援することができた。
-------------	--

県民会議・地域会議等からの意見	
-----------------	--

3 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	地域の課題等を的確に捉え優先的に整備が必要な箇所と、地域の事業実施体制との調整を図る等、継続的に支援していく必要がある。	令和元年度から新たに取組みを始めたライフライン等保全対策への対応を含め、地域のニーズと事業実施体制の的確な把握及び調整を図り、現地機関と協力して引き続き地域への支援を継続していく。